

加齢に伴う事故に注意

少子高齢化社会により、船員の年齢構成も高くなる中で加齢に伴う事故の増加が懸念されています。

実務経験が高まるにしたがってベテランとなり、事故が少なくなるイメージがありますが、そこが盲点で、実際には、50代を越えるあたりから増加が見られます。

これは、海難での北海道東北の漁船員負傷者の年齢別事故者数と厚生労働省の調査でも同様の傾向になっています。

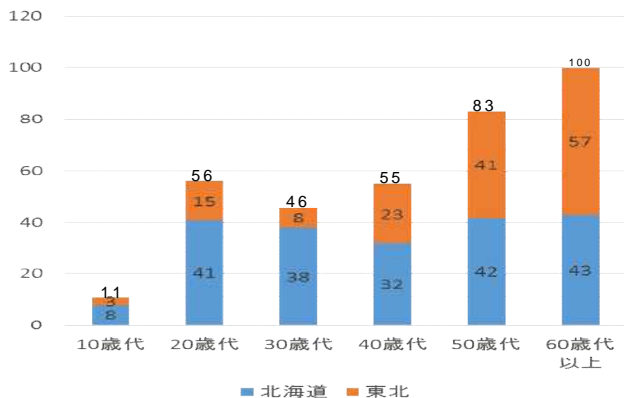
なかなか実感できませんが、若い頃に比べ、50代を越える頃から身体能力は減少していきます。

ところが、それを実感できていないといったギャップが、ひとつの要因になっていると推測されています。

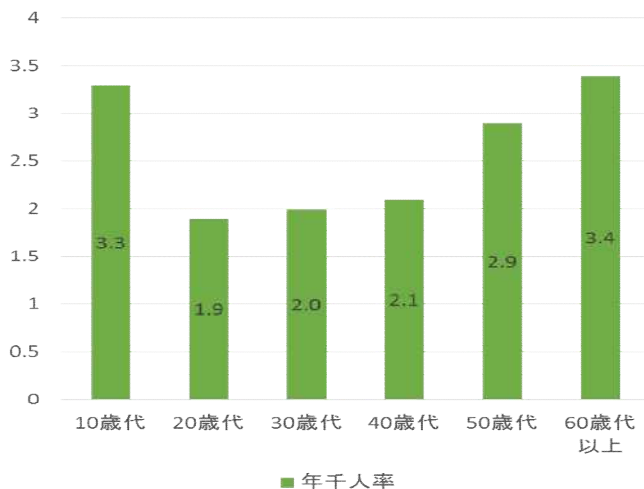
豊富な経験を基に危険を察知し、無理をせず安全第一で行動しましょう。



< 漁船負傷者数 >



10代が少ないのは、就業者数が少ないためと考えられます。



(総務省統計局「労働力調査」、厚生労働省「労働者死傷者病報告」より)

自分は若い！と思わずに十分に注意深く！

お問い合わせは **第一管区海上保安本部交通部**

電話 0134-27-0118 (内線2643,2644)

海の安全情報(スマホ) <https://www6.kaiho.mlit.go.jp/sp/index.html>



海難隻数及び海難による死者・行方不明者数(速報値)

10月	8隻、0人
平成29年累計	78隻、3人